

令和7年度

土地改良事業計画書

(農業用ため池整備事業)

都道府県名：福 岡 県

地 区 名：サ コ タ

所 在 地：朝倉市烏集院

事業主体：福 岡 県

# 目 次

<p><b>第1章 目 的</b> ..... 1</p> <p><b>第2章 地 域 及 び 地 積</b> ..... 1</p> <p>  第1節 地 域 ..... 1</p> <p>  第2節 地 積 ..... 2</p> <p><b>第3章 現 況</b> ..... 3</p> <p>  第1節 気 象 及 び 海 象 ..... 3</p> <p>    1 一 般 気 象 ..... 3</p> <p>    2 特 殊 気 象 ..... 3</p> <p>    3 海 象 ..... 4</p> <p>  第2節 土 地 状 況 ..... 4</p> <p>    1 地形、土壌及び侵食の程度 ..... 4</p> <p>    2 土 地 分 類 ..... 6</p> <p>    3 土 地 利 用 の 状 況 ..... 7</p> <p>    4 土 地 所 有 の 状 況 ..... 8</p> <p>  第3節 水 利 状 況 ..... 9</p> <p>    1 用 水 状 況 ..... 9</p> <p>    2 排 水 状 況 ..... 17</p> <p>    3 河 川 状 況 ..... 20</p> <p>  第4節 道 路 現 況 ..... 21</p> <p>    1 道 路 概 況 ..... 21</p> <p>    2 主 要 道 路 一 覧 表 ..... 21</p> <p>  第5節 地 域 農 業 の 概 況 ..... 22</p> <p>    1 産 業 別 就 業 人 口 ..... 22</p> <p>    2 経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 及 び 耕 地 の 分 散 状 況 並 び に 専 兼 業 別 農 家 数 ..... 23</p> <p>    3 動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数 ..... 23</p> <p>    4 主 要 作 物 作 付 状 況 ..... 24</p> <p>    5 農 業 の 動 向 ..... 25</p>	<p>  第6節 地 域 環 境 の 概 況 ..... 26</p> <p><b>第4章 一 般 計 画</b> ..... 27</p> <p>  第1節 事 業 計 画 の 要 旨 ..... 27</p> <p>    1 要 旨 ..... 27</p> <p>    2 事 業 別 面 積 ..... 27</p> <p>  第2節 営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画 ..... 28</p> <p>    1 営 農 計 画 の 概 要 ..... 28</p> <p>    2 土 地 利 用 区 分 ..... 28</p> <p>    3 作 付 方 式 ..... 29</p> <p>    4 生 産 計 画 ..... 30</p> <p>    5 労 働 改 善 計 画 ..... 31</p> <p>    6 級 地 別 土 地 利 用 区 分 ..... 32</p> <p>    7 土 地 配 分 計 画 ..... 33</p> <p>  第3節 用 水 計 画 ..... 33</p> <p>    1 計 画 基 準 年 ..... 33</p> <p>    2 計 画 かん が い 方 式 ..... 33</p> <p>    3 計 画 用 水 系 統 ..... 33</p> <p>    4 計 画 用 水 量 ..... 34</p> <p>    5 水 源 計 画 ..... 37</p> <p>  第4節 排 水 計 画 ..... 42</p> <p>    1 計 画 基 準 雨 量 ..... 42</p> <p>    2 計 画 排 水 方 式 ..... 42</p> <p>    3 計 画 排 水 系 統 ..... 42</p> <p>    4 計 画 排 水 量 ..... 43</p> <p>    5 排 水 対 策 ..... 44</p> <p>    6 湛 水 検 討 ..... 46</p> <p>  第5節 道 路 計 画 ..... 47</p> <p>    1 道 路 及 び 索 道 ..... 47</p> <p>    2 路 線 配 置 図 ..... 48</p>
---	---

第6節	農用地造成計画	49	第3節	道路及び索道	62
1	農用地造成計画	49	1	道路	62
2	土壌改良	49	2	索道	63
第7節	洪水調節計画	50	第4節	農用地造成	64
1	計画基準雨量	50	1	農用地造成	64
2	計画洪水量及び調節量	50	2	土壌改良	65
3	貯水池	50	第5節	洪水調節施設	66
4	洪水調節検討	51	1	貯水池	66
5	管理計画	51	2	頭首工及び導水施設	66
第8節	干拓計画	52	第6節	干拓施設	67
第9節	農用地整備計画	53	1	堤防	67
1	区画整理	53	2	潮止め	67
2	暗渠排水	55	3	付属施設	67
3	客土	56	4	埋立	67
4	農地保全	56	第7節	農用地整備施設	68
第10節	老朽ため池改修計画	57	1	区画整理	68
1	洪水吐改修計画	57	2	暗渠排水	69
2	堤体補強計画	57	3	客土	70
3	取水施設改修計画	57	4	除礫	70
			5	農地保全	71
<b>第5章</b>	<b>主要工事計画</b>	<b>58</b>	第8節	老朽ため池改修施設	72
第1節	用水施設	58	1	貯水池	72
1	貯水池	58	2	堤体補強施設	72
2	頭首工	58			
3	揚水機	59	<b>第6章</b>	<b>附帯工事計画</b>	<b>73</b>
4	用水路	59			
5	その他のかんがい施設	59	<b>第7章</b>	<b>工事の着手及び完了の予定期間</b>	<b>73</b>
第2節	排水施設	60			
1	排水水門	60	<b>第8章</b>	<b>環境との調和への配慮</b>	<b>74</b>
2	排水機	60			
3	排水路	61			
4	その他排水施設	61			

<b>第9章</b>	<b>換地計画の概要</b>	.....	75
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	.....	75
第2節	換地区の設定	.....	75
1	換地区の名称、所在、面積	.....	75
2	換地区を設定する理由	.....	75
第3節	換地計画樹立の基本方針	.....	75
1	従前の土地の面積の基準	.....	75
2	用途別予定地積	.....	76
3	農用地集団化の方針	.....	77
4	非農用地の換地方法	.....	77
第4節	土地の評価及び清算の方法	.....	78
1	評価の方法	.....	78
2	精算の方法	.....	78
第5節	換地計画樹立の年度計画	.....	78
第6節	換地処分の特則	.....	78
<b>第10章</b>	<b>事業費の総額及び内訳</b>	.....	79
<b>第11章</b>	<b>効用</b>	.....	81
<b>第12章</b>	<b>関連する事業</b>	.....	84
<b>第13章</b>	<b>現況・計画図面</b>		
1	計画平面図	.....	別途図面添付
2	主要構造図	.....	別途図面添付

## 第1章 目的

- (1) 必要性      サコタため池は、その築造年次は不明であり、農業用用水として利用され、重要な施設である。  
現堤体は、上流側法面には波受工が施されておらず、老朽化及び侵食が著しい状況である。  
また、洪水吐は断面不足となっている。取水施設は老朽化し、さらに緊急放流施設がなく地震発生時に破堤の恐れがある。
- (2) 緊急性      堤体施設の老朽化に伴い底樋周辺からの漏水が見られ、洪水吐は流入部の断面が小さく、設計上必要とされる断面積を満たしていない。  
もし降雨等で堤体が決壊すれば、下流の農地及び公共施設、民家等に被害が出ることを予想されるため、早急に事業を実施し、ため池の安定を図りたい。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

事業名	地域
農業用ため池整備事業	福岡県朝倉市烏集院

第2節 地 積

(R6年3月現在)

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
農業用ため池整備事業	朝倉市	16.8	—	—	—	—	16.8	
	計	16.8	—	—	—	—	16.8	
合 計		16.8	—	—	—	—	16.8	

### 第3章 現 況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	朝倉観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	1976年～2021年	4月～10月	11月～3月		
平均気温 (°C)		21.5	7.5	15.7	気象庁ホームページより
降水量	平均 (mm)	1,519.8	411.6	1,931.4	
	基準年 (mm)	-	-	-	
降水日数	平均 (日)	73	46	119.0	≥1.0mm
	基準年 (日)				
根雪期間		月 日 ～ 月 日	日間		
無霜期間		月 日 ～ 月 日	日間		
最多風向		西北西	最大風速	20.0 (南) m/s	最多風向発生時期 2月 最大風速発生年月日 2019年9月22日

##### 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
朝倉観測所															
観測期間															
1976年～2022年															
最大日雨量 (mm)	516.0	2017/7/5	1/500	295.5	2018/7/6	1/35	253.5	2020/7/6	1/16	252.5	2019/7/21	1/16	214.5	2016/6/22	1/8
最大時間雨量 (mm)	129.5	2017/7/5	1/500	74.5	2009/8/15	1/15	69.0	2020/6/27	1/9	69.0	2004/9/19	1/9	65.0	2019/7/21	1/6
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最大連続雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最大連続干天日数 (日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名		既往最高	さく望平均	上下弦平均	平均潮位	上下弦平均	さく望平均	既往最低	備 考
観測期間	年～ 年	潮 位 (m)	満 潮 位 (m)	満 潮 位 (m)	(m)	干 潮 位 (m)	干 潮 位 (m)	潮 位 (m)	
	該当なし								

第2節 土 地 状 況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高 (m)		備 考	
	傾斜	1/1,000	1/1,000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	0°～15°			15°	20°	計	最 高		最 低
	以下	以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	0°	0°～10°	10°～15°	15°～20°	以上					
農業用ため池整備事業	面積 (ha)		16.8				16.8								0.0	53.8	37.9	
	比率 (%)		100				100								0			
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
合計	面積 (ha)		16.8				16.8								0.0			
	比率 (%)		100				100								0			

(第4表-1-2)

土 壤 統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)		備 考	
	土 壤 断 面								堆 積 様 式	母 材	事 業 名			計
	色	腐 植 層	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性			泥 炭 層 黒 泥 層 及 び グ ラ イ 層			農 業 用 た め 池 整 備 事 業			
					表 土	下 層 土								
				一 層	二 層	三 層								
砂質片岩	黒灰色	—	—	—	—	—	—	なし	水積	片岩	16.8		16.8	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16.8		16.8	

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ浸食の程度		備 考
		0	0～ 25%	25～ 50%	50% 以上	0	3mm 未満	3～ 5mm	5mm 以上	中程度 のもの	大なる もの	
	面積 (ha)			該当なし								
	比率 (%)											

## 2. 土 地 分 類

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
		一級地	二 級 地				三 級 地			四 級 地				
			※ (ha)	3°～ 0° (ha)	0°～ 12° (ha)	12°～ 15° (ha)	※ (ha)	15～ 20° (ha)	20°～ 25° (ha)	25°～ 30° (ha)	※ (ha)			30° 以上 (ha)
				該当なし										※ は傾斜以外の要因によるもの
	計													

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	干 拓					備 考
		一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)	計 (ha)	
			該当なし				
	計						

3. 土地利用の状況

(R6年3月現在)

(第4表-3)

事業名	市町村名	耕地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭材 (ha)					
農業用ため池整備事業	朝倉市	16.8	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16.8	
	計	16.8	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16.8	
	計													
	計													
	合計	16.8	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16.8	

4. 土地所有の状況

(R6年3月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有	国有	県有	町有	計	備考
	農業用ため池整備事業	面積 (ha)	16.8				16.8
受益者数 (人)		22				22	
筆数 (筆)							
権利関係							
備考 (関係戸数)		22				22	
	面積 (ha)						
	受益者数 (人)						
	筆数 (筆)						
	権利関係						
	備考 (関係戸数)						
合計	面積 (ha)	16.8				16.8	
	受益者数 (人)	22				22	
	筆数 (筆)						
	権利関係						
	備考 (関係戸数)	22				22	

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統

サコタ池 → 受益地 A=16.8ha q = 0.079m<sup>3</sup>/s

(別紙現況用水系統模式図参照P. 11)

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

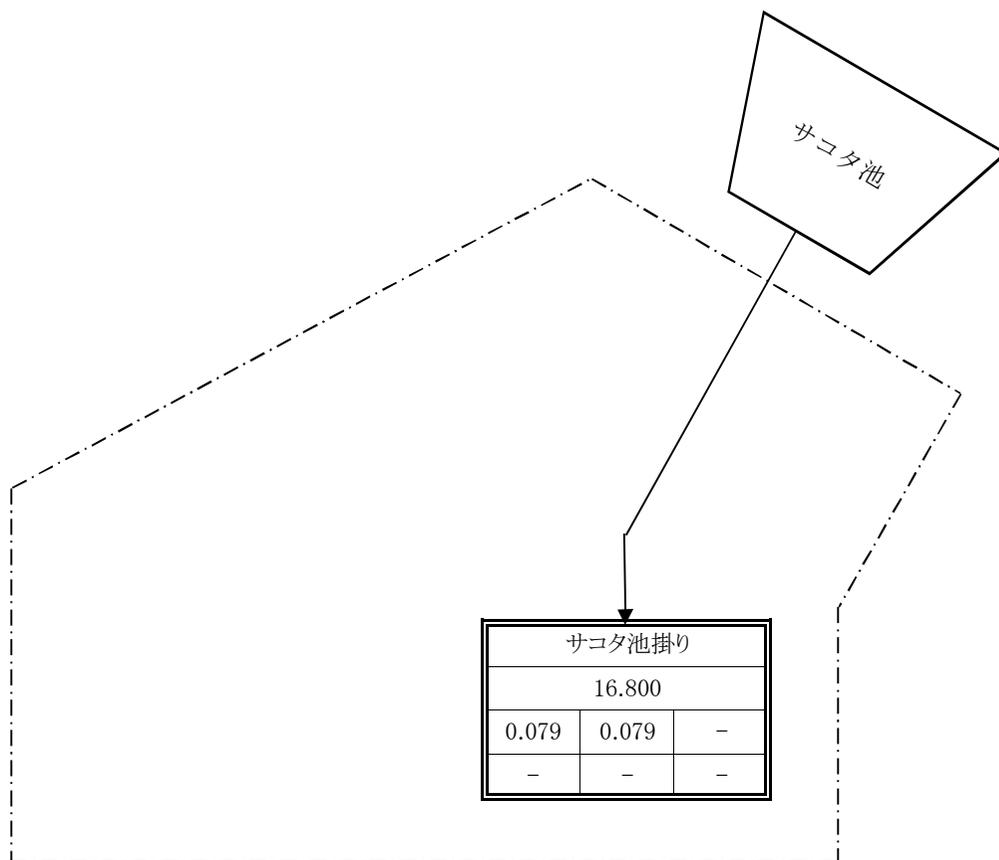
事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500ha以上		500~100ha		100ha以下		箇所	ha	箇所	m <sup>3</sup> /s	箇所	m <sup>3</sup> /s	m <sup>3</sup> /s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農業用ため池整備事業	貯水池					1	16.8	1	16.8			1	0.079		代掻き期： 7 日
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					1	16.8	1	16.8			1	0.079		
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
計															
合計	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					1	16.8	1	16.8			1	0.079		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積  (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
農業 用ため池 整備事業	貯水池	1	16.8	均一型	4,200m <sup>3</sup>	不明	堤体の老朽化に伴う漏水の増加	
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計	1	16.8					
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
計								
合計		1	16.8					

現況用水系統図



凡	例				
記号	名称				
————	既設水路				
○—○	頭首工				
▽	貯水池				
<table border="1"> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> <tr><td>(ハ) (ニ) (ト)</td></tr> <tr><td>(ホ) (ヘ) (ト)</td></tr> </table>	(イ)	(ロ)	(ハ) (ニ) (ト)	(ホ) (ヘ) (ト)	地区外
(イ)					
(ロ)					
(ハ) (ニ) (ト)					
(ホ) (ヘ) (ト)					
<table border="1"> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> <tr><td>(ハ) (ニ) (ト)</td></tr> <tr><td>(ホ) (ヘ) (ト)</td></tr> </table>	(イ)	(ロ)	(ハ) (ニ) (ト)	(ホ) (ヘ) (ト)	地区内
(イ)					
(ロ)					
(ハ) (ニ) (ト)					
(ホ) (ヘ) (ト)					
(イ)	路線名				
(ロ)	灌漑面積				
(ハ)	代掻期粗用水量				
(ニ)	代掻期利用可能量				
(ホ)	普通期粗用水量				
(ヘ)	普通期利用可能量				
(ト)	不足水量				

(3) 用水に関する被害状況

(7) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千 $m^3$ )	不足水量				平均減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量	
				平均 ( $m^3/s$ )	基準年 ( $m^3/s$ )	平均 (千 $m^3$ )	基準年 (千 $m^3$ )			
			該当なし							
	計									
	合計									

(1) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			
			該当なし				

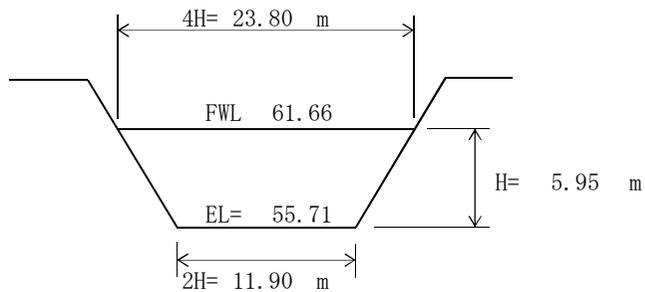
## (4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(千円)						人命 (人)	備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
農業用ため池整備事業	17.3	0.0	4.3	21.6	10,235	235,710	158,664	18,594	54,314	477,517	3	
計	17.3	0.0	4.3	21.6	10,235	235,710	158,664	18,594	54,314	477,517	3	

## (5) 原因究明

本ため池は、下流法面からの出水により漏水をしており、パイピング痕が多数見られる。又、洪水吐は断面不足で洪水量を流下できず非常に危険である。更に斜樋・底樋も老朽化しており水量調節及び維持管理に支障がでている。従って、ため池決壊における被害を未然に防止するための改修工事が早急に望まれる。



$$Q_1 = q_1 + q_2$$

$$\text{但し } q_1 = 4.5 \cdot H^{5/2} = 4.5 \times 5.95^{5/2} = 388.6 \text{ (m}^3/\text{S)}$$

$$q_2 = 4.32 \text{ (m}^3/\text{S)} \quad \text{洪水吐設計洪水量}$$

$$\text{よって } Q_1 = 388.6 + 4.32 = 392.92 \text{ (m}^3/\text{S)}$$

$$\text{総土石流出量 } V = 393 \text{ m}^3$$

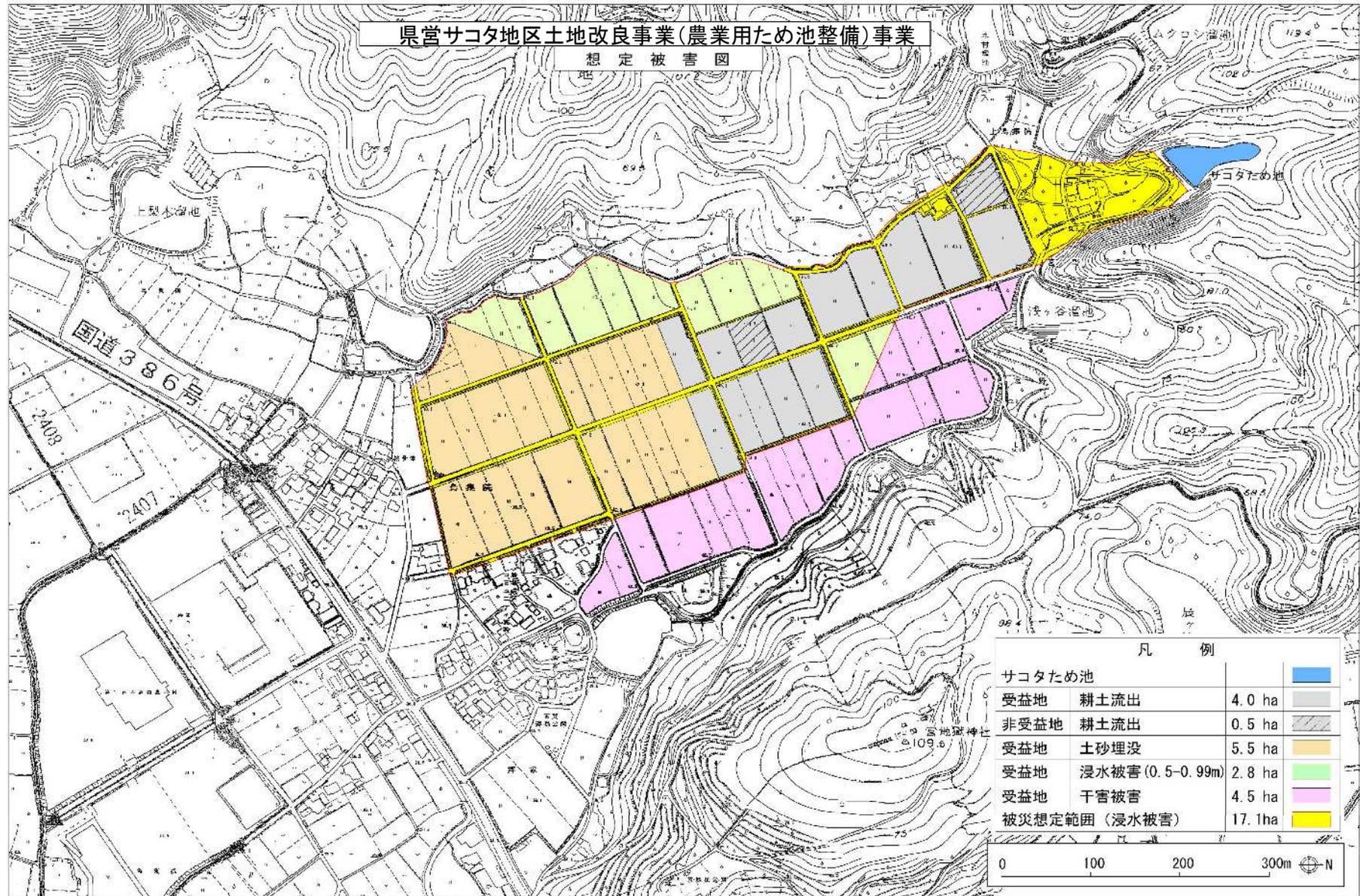
(2) 被害予想算出基礎一覧表

局名		九州農政局		ため池水防体制の経緯		現在までの災害の経緯		小規模	
県名		福岡県						その他特記事項	
地区名		サコタ地区							
種目区分	数量	単価	想定被害額	算出基礎				備考	
				千円	千円				
農地	耕土流出	田	4.5 ha	25,760	115,920				
		畑,樹	ha		0				
	土砂埋没	田	5.5 ha	21,780	119,790				
		畑,樹	ha		0				
農業用施設	農道	半壊	659 m	8.7	5,725	半壊	659 m × 8.7 千円/m =	5,725 千円	
	農道	全壊	622 m	23.2	14,422	全壊	622 m × 23.2 千円/m =	14,422 千円	
	用排水路	半壊	1,000 m	25.1	25,082	半壊	1,000 m × 25.1 千円/m =	25,082 千円	
	用排水路	全壊	1,930 m	58.8	113,435	全壊	1,930 m × 58.8 千円/m =	113,435 千円	
	揚水機場	半壊	ヶ所		0	半壊	0 ヶ所 × 千円/m =	0 千円	
	ゲート	全壊	ヶ所		0	全壊	0 ヶ所 × 千円/m =	0 千円	
	ゲート	半壊	ヶ所		0	半壊	0 ヶ所 × 千円/m =	0 千円	
農作物	園芸施設								
	かんばつ(水田)		4.5 ha	425.0	1,913	作物名: 水稲 4.5 ha × 425.0 千円/ha = 1,913 千円			
	かんばつ(畑)		ha	0.0	0	作物名: 0.0 ha × 千円/ha = 0 千円			
	かんばつ(樹園)		ha	0.0	0	作物名: 0.0 ha × 千円/ha = 0 千円			
	全滅(水田)		10.0 ha	779.0	7,790	作物名: 水稲 10.0 ha × 779.0 千円/ha = 7,790 千円			
	全滅(畑)		ha	234.0	0	作物名: 0.0 ha × 234.0 千円/ha = 0 千円			
	全滅(樹園)		ha	0.0	0	作物名: 0.0 ha × 千円/ha = 0 千円			
	浸水(0.5m未満)		ha	165.0	0	作物名: 水稲 0.0 ha × 165.0 千円/ha = 0 千円			
	浸水(0.5~0.99m)		2.8 ha	190	532	作物名: 水稲 2.8 ha × 190.0 千円/ha = 532 千円			
	浸水(1.0m以上)		ha	294	0	作物名: 水稲 0.0 ha × 294.0 千円/ha = 0 千円			
農業用納屋	床上0.5m未満		0 戸	2,782	0	建物 償却資産 在庫資産 (10,193 × 0.235) + (2,265 × 0.113) + (588 × 0.223) = 2,782 千円			
	床上0.5m~0.99m未満		2 戸	4,397	8,794	建物 償却資産 在庫資産 (10,193 × 0.325) + (2,265 × 0.327) + (588 × 0.584) = 4,397 千円			
	床上1.0m~1.99m未満		0 戸	6,543	0	建物 償却資産 在庫資産 (10,193 × 0.499) + (2,265 × 0.483) + (588 × 0.618) = 6,543 千円			
小計					413,403				

(2) 被害予想算出基礎一覧表 続き

種 目 区 分		数 量	単 価	想定被害額	算 出 基 礎	備 考	
一 般 想 定 被 害	家	床下浸水	0 戸	千円 2,267	千円 0	(資産)建物+家庭用品 (23,983 × 0.064) + (9,583 × 0.037) = 1,890 千円/戸 (応急対策費)清掃労働+代替活動 (232) + (145) = 377 千円/戸	
		床上0.5m未満	2 戸	千円 9,068	千円 18,136	(資産)建物+家庭用品 (23,983 × 0.235) + (9,583 × 0.308) = 8,588 千円/戸 (応急対策費)清掃労働+代替活動 (232) + (248) = 480 千円/戸	
		床上0.5m~0.99m未満	0 戸	千円 0	千円 0	(資産)建物+家庭用品 ( ) × ( ) + ( ) × ( ) = 0 千円/戸 (応急対策費)清掃労働+代替活動 ( ) + ( ) = 0 千円/戸	
事 務 所	床上0.5m未満	1 戸	千円 20,564	千円 20,564	建物 償却資産 在庫資産 (46,073 × 0.235) + (15,444 × 0.296) + (2,181 × 0.282) = 16,013 千円/戸 (応急対策費)営業停止+代替活動 (3,982) + (569) = 4,551 千円/戸		
	床上0.5m~0.99m未満	0 戸	千円 0	千円 0	建物 償却資産 在庫資産 ( ) × ( ) + ( ) × ( ) + ( ) × ( ) = 0 千円/戸 (応急対策費)営業停止+代替活動 ( ) + ( ) = 0 千円/戸		
自 動 車	地盤面から30cm未満	0 世帯	0	0	家庭用品(自動車) 3,410 × 0.0 = 0 千円/世帯		
	地盤面から30~49cm	0 世帯	341	0	評価額×換算係数 3,410 × 0.1 = 341 千円/世帯		
	地盤面から50~69cm	0 世帯	1,705	0	3,169 × 1.105 3,410 × 0.5 = 1,705 千円/世帯		
	地盤面から70cm以上	2 世帯	3,410	6,820	= 3,502 千円 3,410 × 1.0 = 3,410 千円/世帯		
小 計				45,520			
公 共 想 定 被 害	県 道	— m			全壊 m × 千円/m = 千円 半壊 m × 千円/m = 千円		
	市 町 村 道	0 m	0.0	0	全壊 0.0 m × 千円/m = 0 千円		
		952 m	19.5	18,594	半壊 952.0 m × 19.5 千円/m = 18,594 千円		
	鉄 道	— m			全壊 m × 千円/m = 千円 半壊 m × 千円/m = 千円		
		— m			全壊 m × (0 千円/m × 1/2) = 0 千円 半壊 m × 千円/m = 0 千円		
小 計				18,594			
人 命 想 定 被 害		全壊家屋住人	0 人	2.6人/戸×0戸=0人			
		半壊家屋住人	3 人	2.6人/戸×2戸×1/2=3人			
合 計				477,517	( 15 )		

(3) 被害予想図



2. 排水状況  
 (1) 排水系統

該当なし

(2) 排水施設  
 (ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			500ha以上		100～500ha		100ha未満						
	施設名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
計													
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
計													
合計													

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	構造	規模	新設 又は 更新	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
計								
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
計								
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
計								
合計								

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量 (t)		備考	
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m <sup>3</sup> )	田		畑		その他					
									乾	湿	乾	湿	乾	湿	作物名	減産量		
			平均															
			基準年			該当なし												
	計		平均															
			基準年															
合計			平均															
			基準年															

3. 河川状況

(1) 河川状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	安全洪水量 ( $m^3/s$ )	既往最大洪水量 ( $m^3/s$ )	備考
		該当なし				

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額		該当なし			
平均被害額					

## 第4節 道路現況

### 1. 道路概況

該当なし

### 2. 主要道路一覧表

(第6表)

	路線名	管理 区分別	延長(m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

市町村名	項目	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	供給水道業 (人)	電気ガス熱 運輸通信業 (人)	御売小売業飲食店 (人)	金融保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
朝倉市		24,108	3,032	63	8	14	1,862	3,793	63	1,468	3,451	294	270	2,498	686	6,606	令和2年 国勢調査
計		24,108	3,032	63	8	14	1,862	3,793	63	1,468	3,451	294	270	2,498	686	6,606	
比率 (%)		100%	13%	0%	0%	0%	8%	16%	0%	6%	14%	1%	1%	10%	3%	27%	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)					耕地の分散状況		専業別農家数 (戸)		備考		
		例外規定の適用を受けるもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり	団地当たり	専業		兼業	
			~	~	~	~	~	~	~	~	~												ha	以上
朝倉市	2,196	113	208	467	297	172	168	95	53	30	19	677	2.18	0.31	0.47	2.96	0.00	2.96	-	-	-	-	-	農林業センサス 2020年現在  (2020年より 専業別農家数の統計 廃止)
計	2,196	113	208	467	297	172	168	137	53	30	19	677	2.18	0.31	0.47	2.96	0.00	2.96	-	-	-	-	-	
比率(%)	100%	5%	9%	21%	14%	8%	8%	4%	2%	1.4%	0.9%	31%	74%	10%	16%	100%	0%	100%	-	-	-	-	-	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具						主要家畜						備考
	動力田植機		トラクター		コンバイン		乳用牛		肉用牛		採卵鶏		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
朝倉市	-	-	-	-	-	-	1,479	24	-	16	5,142	6	農林業センサス 2020年現在 (2020年より農業用機械の所有台数の 統計廃止)
計	-	-	-	-	-	-	1,479	24	0	16	5,142	6	
100戸当たり数量 (台, 頭)	-	-	-	-	-	-	6,163		0		85,700		
利用戸数割合(%)	-	-	-	-	-	-	52.2%		34.8%		13.0%		

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		朝倉市						計	平均	作付率	備考
総耕地面積 (ha)		4,900						4,900			
総本地面積 (ha)								0			
作付名	区分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	(%)	
	田・畑	表作	水 稲	1,690	470				1,690	470	34.5%
大 豆			568	146				568	146	11.6%	
裏作		大 麦	560	440				560	440	11.4%	
		小 麦	933	397				933	397	19.0%	
樹園地											
計		3,751						3,751		76.6%	
市町村別延べ作付率(%)		76.6%						76.6%			

第68次福岡県  
農林水産統計  
年報による

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)		
変化の 状 況 (C年を 100と する 指 数)	総農家数	75	62	総面積	97	85	水 稻	104	88	乳用牛	66	69	動力田植機	61	-	(2020年 農林業センサスか ら 専兼業別農家 数の統計、 農業用機械の所 有台数の統計の 廃止)	
	専業農家数	89	-	田	104	91	麦 類	120	111	肉用牛	-	-	トラクター	68	-		
	第一種 兼業農家数	69	-	畑	100	133	豆 類	139	134	採卵鶏	4	133	コンバイン	60	-		
	第二種 兼業農家数	61	-	樹園地	73	55											
	農 業 従 事 者 数	65	40	草 地	50	65											
変化の 理 由	農産物価格の低迷により、農家戸数の減少が進んでいる。			農業後継者や担い手が減少して、耕作放棄地が増加しているが、認定農業者や集落営農組織に農地の利用集積を推進している。			農産物の生産性や効率性の向上を図るため担い手への農地の利用集積や土地改良施設の改修改良を進め地産地消を推進し販路を拡大する。			後継者や担い手が減少及び安価な輸入製品の影響により家畜農家は減少傾向にある。			労働力不足のため、中核的農家、営農集団などへの作業委託が増えている。			農林業 センサス 2020 2015 2010  A： 20年度 B： 15年度 C： 10年度	

## 第6節 地域環境の概況

### 1. 植物・動物等生態系の概要

#### 【文献調査】

植物：ツゲ林など植生およびサクラソウ、ズミ、ホソバママコナなど植物。

哺乳類：カヤネズミ、スミスネズミ、ニホンザルなど。

鳥類：クマタカ、ブッポウソウ、アオバズクなど。

両生類：トノサマガエル、ヤマアカガエル、アカハライモリなど。

鱗翅目：オオウラギンヒョウモン、シルビアチジミ、オオムラサキなど。

魚類：ヤリタナゴ、アブラボテなど。

※参考文献：福岡県レッドデータブック2001,2014

【希少種分布状況】：福岡県希少野生生物分布情報 (<http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~kankyouseibutsu/gis/gis.html> 2017.5.29更新)より

希少植物確認種数 1種

希少動物確認種数 0種

### 2. 土地利用状況の概要

朝倉市は、福岡県のほぼ中央部、福岡市の南東約30km、久留米市の北東約20kmに位置し、総面積24,671haを有している。この広大な市域の約55%が森林で最も多く、気候は年平均気温15.9度であり、年間降雨量1,931mmで、一般的に温暖である。

地形的には、山間・山麓、中山間、平坦地等に大別でき、市内を西から南東へと向かう国道386号の南側は平野部であり、北部から東部にかけては、800～900m級の山々が連なっている。

市域西端部には、商工業を中心とした市街地を形成しており、また、市域南部は境界にほぼ沿うかたちで筑後川が流れ、河川沿いを中心に肥沃かつ平坦な農地を形成している。そこでは、博多万能ねぎをはじめとする農産物の生産が行われ、その東には山間丘陵地が広がり、ここでは果樹の生産が行われ、農産品の生産と観光・交流の場として、貴重な地域資源となっている。

交通は、福岡方面と日田方面を結ぶ国道386号線が東西に走り、主要幹線道路となっており、市の南北を貫く国道322号、500号などの幹線道路と、県道・市道が各地域を結んでいる。また、市域の中心部を東西に大分自動車道が走り、甘木、朝倉、杷木の3つのインターチェンジが整備されているほか、甘木駅を起点とする2つの鉄道と、国道・幹線道路をはじめとする道路網により周辺都市との連携が図られている。

※参考文献：朝倉市農村振興地域整備計画書(平成27年11月)

第4章 一般計画  
第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

項 目	事業を必要とする理由	改修・補強工法
堤 体	① 堤体断面 : 上流側斜面浸食 ② 堤体の余裕高不足 : 0.65m不足 ③ 堤体の安定計算 : 安定率1.20未満 ④ 堤体等からの漏水 : 70.2 ℓ/100m > 60.0 ℓ/100m 以上から、堤体の強度は低下していると判断されるため、早急な改修を必要とする。	堤体改修工法 : 前刃金工法（傾斜遮水ゾーン型） 堤高H=7.8m、堤長L=60.0m、堤頂幅W=3.6m 法面保護工 : 波受工（張ブロック） 腰石積工 : 積ブロック
取 水 施 設	○ 取水施設の機能低下 ○ 緊急放流施設の未整備	斜樋 : VP管 φ250（取水孔 φ150×3）、延長L=13.7m ※緊急放流孔兼用 底樋 : HP管 φ800、延長L=30.0m
洪 水 吐	○ 洪水吐の断面不足 計画洪水量 4.32m <sup>3</sup> /s > 現況能力 2.27m <sup>2</sup> /s	洪水吐 : 側水路型（鉄筋コンクリート三面張り） 堰幅B=5.8m 延長L=58.0m（放流水路含む）
その他被災歴・改修歴 ・溜池依存の状況等 特記事項	【防災重点農業用ため池】・・・該当 【重要度区分】・・・重要度A 【被災歴・改修歴】・・・洪水吐の災害復旧	

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業目的	農業用ため池整備事業																		計 (ha)	備 考	
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	草 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)			
老朽ため池改修	16.8					16.8														16.8	
計	16.8	0.0	-	-	-	16.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.8	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業により、サコタ池の貯水機能を回復し、下流農地及び農業用施設の災害防止及び水供給の安定化により干害被害を防止する。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用ため池整備事業	現況	16.80	-	-	-	-	-	16.80	-	-	-	16.80	
	計画	16.80	-	-	-	-	-	16.80	-	-	-	16.80	
	現況												
	計画												
	現況												
	計画												
計	現況	16.80	0.00	-	-	-	-	16.80	-	-	-	16.80	
	計画	16.80	0.00	-	-	-	-	16.80	-	-	-	16.80	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
現況	田(表)																									○△× 播移収 種植穫		
	畑																											
計画	田(表)																											
	畑																											

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考		
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加			
	水																	
	田																	
	普通畑																	
			計															
		合計																

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作物面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備考
					区分	現況	計画	増減	
	輪 換 耕 地	表 作							
		裏 作							
		計							
	普 通 畑	表 作							
		裏 作							
		計							
	合 計								

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

区分 級地名		農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					合 計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
土地利用区分												
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑 園)											
そ の 他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

区分	項目	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)							備 考
			田	輪換耕地	畑			計		
					普通畑	牧草畑	樹園地			
増 反			( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
入 植			( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

第3節 用 水 計 画

1. 計画基準年

\_\_\_\_\_

2. 計画かんがい方式

スルースゲートの開閉による自然流下かんがいを行う。

3. 計画用水系統

サコタ池 → 受益地 受益面積 16.8 ha  
(別紙計画用水模式図参照P. 35)

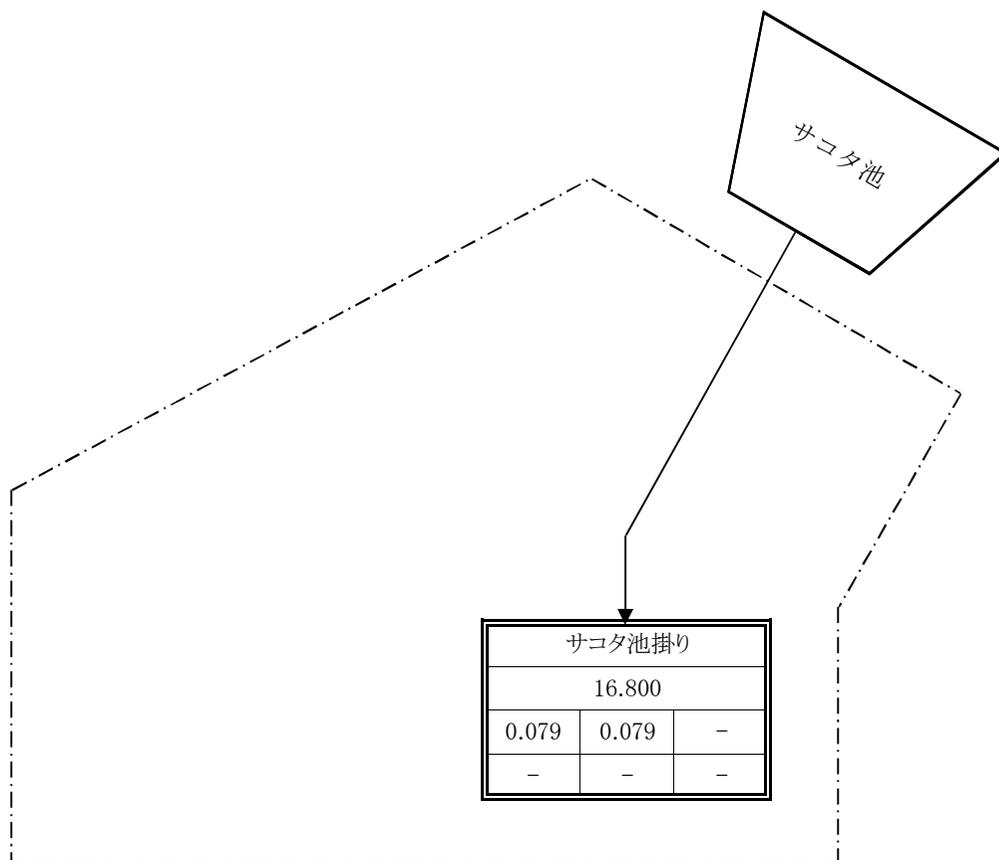
4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目  系統図	種  別	面積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量  (m <sup>3</sup> /s)	損 失 率  (%)	粗用水量		備 考
		事業名		普通 期	代 掻 期	面 積  (ha)	一 日 当 た り 計 画 平 均 かん 水 深  (mm/日)	平 均 間 断 日 数  (日)	面 積  (ha)	一 日 当 た り 計 画 平 均 かん 水 深  (mm/日)	平 均 間 断 日 数  (日)	面 積  (ha)	単 位 用 水 量  計 画 平 均  (mm/日)	面 積  (ha)			平	最 大	
		農 業 用 た め 池 整 備 事 業	計 画 平 均	計 画 代 掻	単 位 用 水 量  (mm/日)														
		16.8			150.0	16.8								0.013	15		0.079		

計画用水系統図



凡	例								
記号	名称								
————	既設水路								
	頭首工								
	貯水池								
<table border="1" data-bbox="1742 678 1886 774"> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> <tr><td>(ハ)</td><td>(ニ)</td><td>(ト)</td></tr> <tr><td>(ホ)</td><td>(ヘ)</td><td>(ト)</td></tr> </table>	(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ト)	(ホ)	(ヘ)	(ト)	地区外
(イ)									
(ロ)									
(ハ)	(ニ)	(ト)							
(ホ)	(ヘ)	(ト)							
<table border="1" data-bbox="1742 805 1886 901"> <tr><td>(イ)</td></tr> <tr><td>(ロ)</td></tr> <tr><td>(ハ)</td><td>(ニ)</td><td>(ト)</td></tr> <tr><td>(ホ)</td><td>(ヘ)</td><td>(ト)</td></tr> </table>	(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ト)	(ホ)	(ヘ)	(ト)	地区内
(イ)									
(ロ)									
(ハ)	(ニ)	(ト)							
(ホ)	(ヘ)	(ト)							
(イ)	路線名								
(ロ)	灌漑面積								
(ハ)	代掻期粗用水量								
(ニ)	代掻期利用可能量								
(ホ)	普通期粗用水量								
(ヘ)	普通期利用可能量								
(ト)	不足水量								

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区 分	利用区分	対象面積 (ha)			日 当 給 水 量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事 業 名		計	単位給水量 (1/s)	最大給水量 (1/s)			
(The entire table body is crossed out with a diagonal line from the top-left to the bottom-right.)									



(2) 用水対策

(7) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積(km <sup>2</sup> )		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直 接	間 接	事業名		計					
			農業用ため池整備 事業							
サコタ	0.104	-	16.8	-	16.80	5.6	5.6	-	0.079	

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)		計	取水量 (m <sup>3</sup> /s)		備 考
			事業名			最大	平均	
計								

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m <sup>3</sup> /s)		揚水機				備考
		事業名		計	最大 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (m <sup>3</sup> /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)		計	最大通水量 ( $m^3/s$ )	延長 (m)	構造	備考
	事業名						

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

該当なし

#### 第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画排水方式

該当なし

3. 計画排水系統

該当なし

4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)		流域面積 (km <sup>2</sup> )		基準 雨 量 (mm)	降雨による 直接単位 流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量(m <sup>3</sup> /s)			単位排水量		備考	
	事業名									計	山 地	平 地	山 地	平 地		山 地
			自然 排水	機 械 排 水		山 地	平 地									
								山 地	平 地							

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)		計	計 画		排 水 本 川			備 考
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 たん水深 (m)	名 称	計 画 洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計 画 洪水位 (m)	
計										

(2) 排水機

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)		計	計画排水量		排 水 機				備 考
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台 数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
計											

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計 画 排 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名		計				名 称	計 画 洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計 画 洪水位 (m)	
計											

(イ) その他

該当なし

6. 湛水検討

	湛水状況			許容湛水深以上		排水系統	備考
	面積	最大湛水深	最大湛水時間	面積	時間		
現況	ha	cm		ha			
計画							

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項目 路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
計				

(2) 索 道

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備 考

2. 路線配置図

該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作目	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図

2. 土壌改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌 統(区)名	pH		置換酸度 (Y <sub>1</sub> )	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H <sub>2</sub> O	KCI			石灰 (t)	りん酸質 資材 (t)	有機質 資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画洪水量及び調節量 (略)

(第14表-1)

地点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪水 到達時間 (hr)	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	安全洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	必要調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調節後流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節後 最大流量 (m <sup>3</sup> /s)	調節前後の 最大 流量の差 (m <sup>3</sup> /s)	最大 調節量 (m <sup>3</sup> /s)

3. 貯水池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )			計画調節 流量 (m <sup>3</sup> /s)	可能調節 流量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

#### 4. 洪水調節検討

##### (1) 河川改修計画との関係

該当なし

##### (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なし

##### (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なし

#### 5. 管理計画

##### (1) 管理機構

該当なし

##### (2) ダム管理操作上の各種基準

該当なし

##### (3) 洪水調節要領

該当なし

第8節 干拓計画

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水位) (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/ s)	気圧 (m b)	備考
<del>                             (This table content is crossed out with a diagonal line)                         </del>						

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
計					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備 考

(3) 末端道水路配置図

該 当 な し

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)		計	土 壤 統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ( $\frac{l}{s}$ /ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠 出口以下 の排水 方法	備 考
	事業名								
計									

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)		計	土壌統(区)名	土 壤 硬 度	備 考
	事業名					
計						

3. 客 土

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)		土壌統 (区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10aあたり 客土量 (m <sup>3</sup> )	土 壤 の 性 質		備 考
	事業名	計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
計											

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	

## (3) 浸食（崩壊）防止工

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

## 第10節 老朽のため池改修計画

## 1. 洪水吐改修計画

## (1) 計画基準雨量

計 画 降 雨	観測機関名	朝倉地域気象観測所（1時間 1976年～2021年） 日田特別地域気象観測所（10分間 1946年～2021年）
	計画基準雨量	(1) 200年確率雨量（A項流量） $\gamma_t = 96.5 \text{ mm/hr}$ $\gamma_{10} = 39.8 \text{ mm/10min}$ (2) 既往最大時間雨量 $\gamma_t = 129.5 \text{ mm/hr}$ $\gamma_{10} = 33.8 \text{ mm/10min}$
	計画根拠	洪水到達時間31.9分より有効降雨強度 $\gamma_t = 163.8 \text{ mm/hr}$ となる。 到達時間を含む比較により、既往最大雨量を使用する。

## (2) 計画洪水量

集水 面積	直接	10.4 ha	合計
	間接	- ha	10.40 ha
計画 洪水 量	計算式 流出率 計画洪水量	$Q = 1/3.6 \cdot f \cdot \gamma_t \cdot A \cdot 1.2$ 0.76（総合流出） $Q = 1/3.6 \times 0.76 \times 163.8 \times 0.104 \times 1.2 = 4.32 \text{ m}^3/\text{s}$	

## 2. 堤体補強計画

- (7) 法面保護工 張ブロック（堤体上流法面）  
 (i) 漏水防止 傾斜遮水ゾーン型（前刃金工法）

## 3. 取水施設改修計画

ため池栓（木栓）および底樋を改修し、さらに取水孔に緊急放流機能を持たせることで水管理の向上を図る。  
 取水管は塩ビ管φ250、取水孔はΦ150×3孔とし、スルースゲートを設ける（緊急放流孔は、取水孔を兼用）。  
 底樋は、ヒューム管φ800に更新し、土砂吐ゲート800×800を設ける。

第5章 主要工事計画  
第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称	型式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		位置 堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m <sup>3</sup> )	基礎地盤 地質	貯水量 (千m <sup>3</sup> )		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
堤体										
洪水吐	型式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)		取水施設	型式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	型式	放流量 (m <sup>3</sup> /s)	

2. 頭首工

(第17表-2)

名称 型式	堤高 (m)	堤長 (m)			位置 計	取水位 (m)	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	付帯施設	備考
		固定部	可動部						
計									

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (KW)	台数 (台)	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	計		開きよ	トンネル その他	計				
計										

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	計		開きよ	トンネル その他	計				
計										

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効) (m)×延長 (m)	構造	付帯構造図			最急 勾配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
計										

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名稱	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

## 2. 索道

(第19表-3)

項目 名稱	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力 ( )	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根

(第20表-1)

区分	項目	樹種	樹径 (cm)	ha 当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計						

(2) 除礫

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha 当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

区分		項目	面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法				
			該当なし		
	計				

(4) 地目変換

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
		該当なし		
	計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

区分 \ 項目	数量	規模	構造	備考
	該当なし			
計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

区分 \ 項目	数量	規模	構造	備考
	該当なし			
計				

## 2. 土壌改良

(第20表-7)

区分 \ 項目	面積 (h a)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名称	位置		堤長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
			固定部	可動部	計			
型式	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	固定部	可動部	計	計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
(This table is currently empty)								

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			
(This table is currently empty)							

第6節 干 拓 施 設

1. 堤 防

(第22表-1)

項目 名称	形 式	延 長 (m)	構 造				原地盤標高(m)		備 考
			堤長標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	

2. 潮 止 め

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考

3. 付 属 施 設

該 当 な し

4. 埋 立

(第22表-3)

項目 区分	面 積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m <sup>3</sup> )	施 工 方 法	備 考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m <sup>3</sup> )	面積 (ha)	土量 (m <sup>3</sup> )	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 暗 渠 排 水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)		集 水 渠				排 水 渠						集水渠出口以下 の排水施設			備 考
	事業名	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
計																

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

3. 客 土

(第23表-5)

項目 区分	面 積 (ha)		客入土量 (m <sup>3</sup> )	土取場土量 (m <sup>3</sup> )	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
	事 業 名	計					
計							

4. 除 礫

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	haあたり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

5. 農地保全

(1) 防風林

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
		該当なし				
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	構造	備考
		該当なし		
計				

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

項目 区分	構造	数量	備考
	該当なし		
計			

## 第8節 老朽ため池改修施設

### 1. 貯水池

(第24表)

名称	サコタ池					位置	福岡県朝倉市烏集院		
	区分	形式	流域 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m <sup>3</sup> )	堤体幅 (m)	貯水量 (千m <sup>3</sup> )	備考
堤 体	現況	均一型	0.104	5.10	57.0	4,200	4.10	4.60	
	計画	前刃金型	0.104	7.80	60.0	9,200	3.60	5.60	
	区分	形式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規模 (m)	備考	取水 施設	形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
現況	越流堰型	2.27	3.00	断面不足	斜樋		φ250 0.079		
計画	側水路型	4.32	5.80		底樋		HPφ800		

### 2. 堤体補強施設

#### (1) のり面保護施設

堤体上流法面は、張ブロックによる波受工を施工する。

#### (2) 漏水防止工

堤体は前刃金工法で施工する。

## 第6章 附帯工事計画

該 当 な し

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

### 1. 工事の着手及び完了の予定

工 期	着手予定	令和7年度	
	完了予定	令和11年度	5ヵ年

## 第8章 環境との調和への配慮

### 第1節 配慮の対象

#### 1. 動物

該当なし

#### 2. 植物

該当なし

#### 3. その他

該当なし

### 第2節 配慮の考え方

#### 1. 施工上の配慮

堤体法面に張芝を施すことで、周辺景観との調和を図る。

また、ため池工事に伴う泥水の発生を抑えるとともに、土砂等が下流水路に流出しないように努める。

## 第9章 換地計画の概要

### 第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

### 第2節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称・所在・面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

#### 2. 換地区を設定する理由

該当なし

### 第3節 換地計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	





第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

該当なし

2. 清算の方法

該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備 考

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第 10 章 事業費の総額及び内訳

1. 総括表

(第 26 表-1)

事 項	事業費	事業内容	備考																						
	百万円																								
工 事 費	262.5	堤体工、取水施設工、洪水吐工、仮設工	負担割合 (単位 %) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">国</th> <th rowspan="2">県</th> <th colspan="2">地 元</th> </tr> <tr> <th>市町村</th> <th>農家</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>55</td> <td>30</td> <td>12</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>工事雑費</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		国	県	地 元		市町村	農家	事業費	55	30	12	3	工事雑費	0	100	0	0	事務費	0	100	0	0
	国	県					地 元																		
				市町村	農家																				
事業費	55	30		12	3																				
工事雑費	0	100		0	0																				
事務費	0	100		0	0																				
測 量 及 び 試 験 費	30.0	測量、地質調査、実施設計、家屋調査等																							
用 地 及 び 補 償 費	7.5																								
工 事 雑 費	6.0																								
計 (事業費)	306.0																								
地 方 事 務 費	15.3	事業費×5.0%以内																							
合 計	321.3		令和 4 年度単価																						

2. 工事費内訳表

(第26表-2)

事 項	事 業	費	金 額	単 位 当 り 費 用	備 考
			(千円)		
(1) 堤体工	堤	長 L = 60.0 m	123,900	2,065,000 円/m	
(2) 取水施設工	斜	樋 L = 13.7 m	8,400	613,139 円/m	
	底	樋 L = 30.0 m	29,400	980,000 円/m	
(3) 洪水吐工	延	長 L = 58.0 m	52,500	905,172 円/m	
(4) 仮設工	仮 設 道 路	L = 247.8 m	48,300	194,915 円/m	
小 計			262,500		
合 計			262,500		令和4年度単価

第11章 効 用

1. 総括

(1) 総費用総便益比及び所得償還率の総括

(第27表-1)

区分	算定式	数値	備考
総費用	③=①+②	247,217 千円	
当該事業による費用	①	259,492 千円	
その他費用（関連事業+資産科価額+再整備費）	②	-12,275 千円	
年償還額	④	617 千円/年	
うち機能向上分	④'	- 千円/年	
年総効果（便益額）	⑤	21,424 千円/年	
現況年農業所得額	⑥	3,363 千円/年	
年増加農業所得額	⑦	-44 千円/年	
評価期間（当該事業の工事期間+40年）		45 年	
割引率		0.04	
総便益額（現在価値化）	⑧	444,103 千円	
総費用総便益比	⑨=⑧÷③	1.79	≧1.0
総所得償還率	⑩=④÷⑥×100	18.3%	≦20%
増加所得償還率	⑪=④'÷⑦×100	- %	

(マニュアル 第1表)

## (2) 総費用の総括

(単位：千円) (第27表-2)

区分	施設名 (又は工種)	①事業着工時点 の資産価額	②当該事業費	③関連事業費	④評価期間における 再整備費	⑤評価期間終了時点の資 産価額	総費用⑥=①+②+③+ ④-⑤
県 営 事 業	堤体工	0	146,574	0	0	11,981	134,593
	取水施設工		48,653		7,320	7,443	48,530
	洪水吐工		64,265		10,167	10,338	64,094
	計	0	259,492	0	17,487	29,762	247,217

(マニュアル 第2表)

## (3) 年総効果額及び年増加所得額及び現況年総農業所得額

(単位：千円) (第27表-3)

効果項目	区分	年総効果(便益)額	年増加農業所得額		現況年総農業所得額	備考
				うち機能向上分		
作物生産効果		—	—	—	—	
維持管理費節減効果		△ 64	△ 44	—	—	
災害防止効果 (農業関係資産)		18,603	—	—	—	
災害防止効果 (一般資産)		2,048	—	—	—	
災害防止効果 (公共資産)		837				
合計		21,424	△ 44	—	—	令和4年度単価

(マニュアル 第3表)

## (4) 農家負担年償還額の総括

(単位：千円) (第27表-4)

項目	事業費 ①	負担率 (%)				農家負担額 ③=①×②	年賦金率 ④	農家負担年償還額 ⑤=③×④	備考
		国	都道府県	市町村	農家 ②				
事業費 (工雑除く)	300,000	55	30	12	3	9,000	0.06855	617	
工事雑費	6,000	0	100	0	0	0		0	
小計	306,000					9,000		617	
事務費 (無利子)	15,300	0	100	0	0	0		0	
小計	15,300					0		0	
合計	321,300					9,000		617	
関連事業									
	計								
合計	321,300					9,000		617	

(マニュアル 第4表)

## 第 1 2 章 関連する事業

該当なし

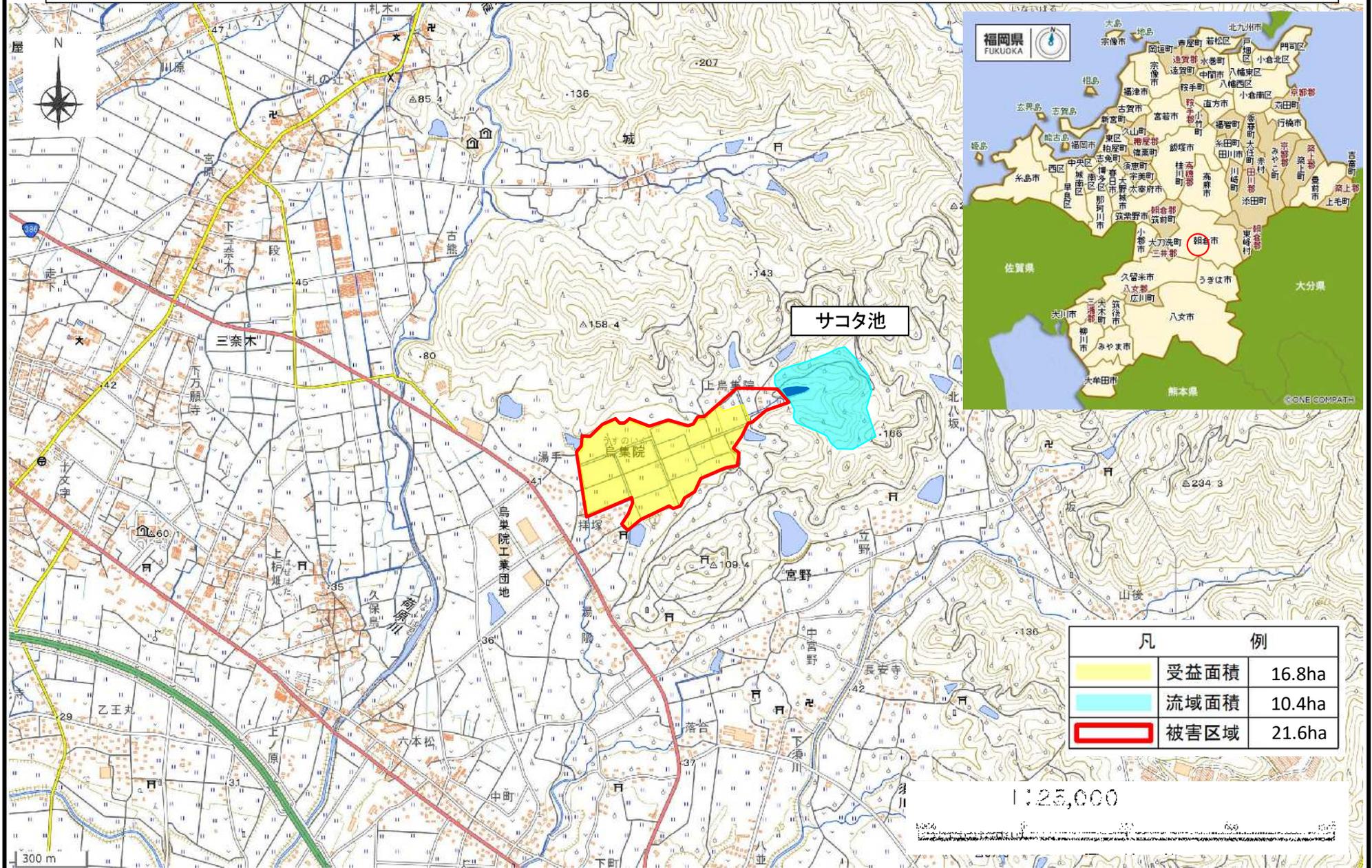
## 第 1 3 章 現況・計画平面図

1. 計画平面図・・・・・・・・・・別途図面添付
2. 主要構造図・・・・・・・・・・別途図面添付

令和7年度

県営サコタ地区土地改良（農業用ため池整備）事業 位置図

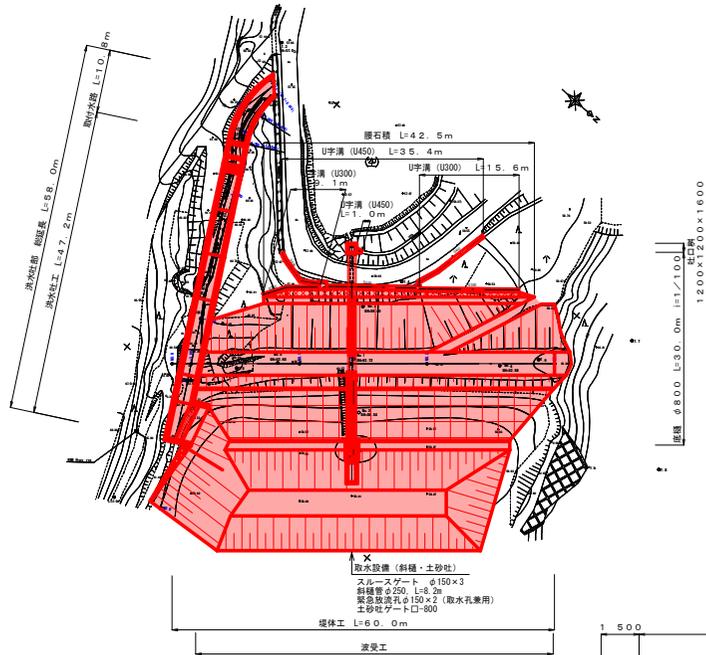
S=1/25,000



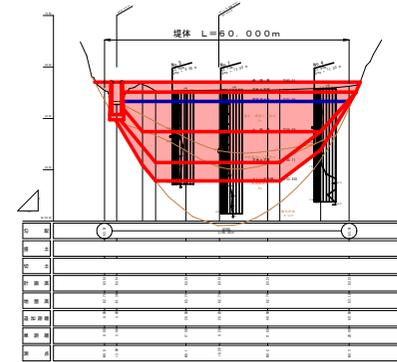
1:25,000

# 令和7年度 県営サコタ地区土地改良（農業用ため池整備）事業 概要図（1/4）

## 計画平面図



## 堤体縦断面図

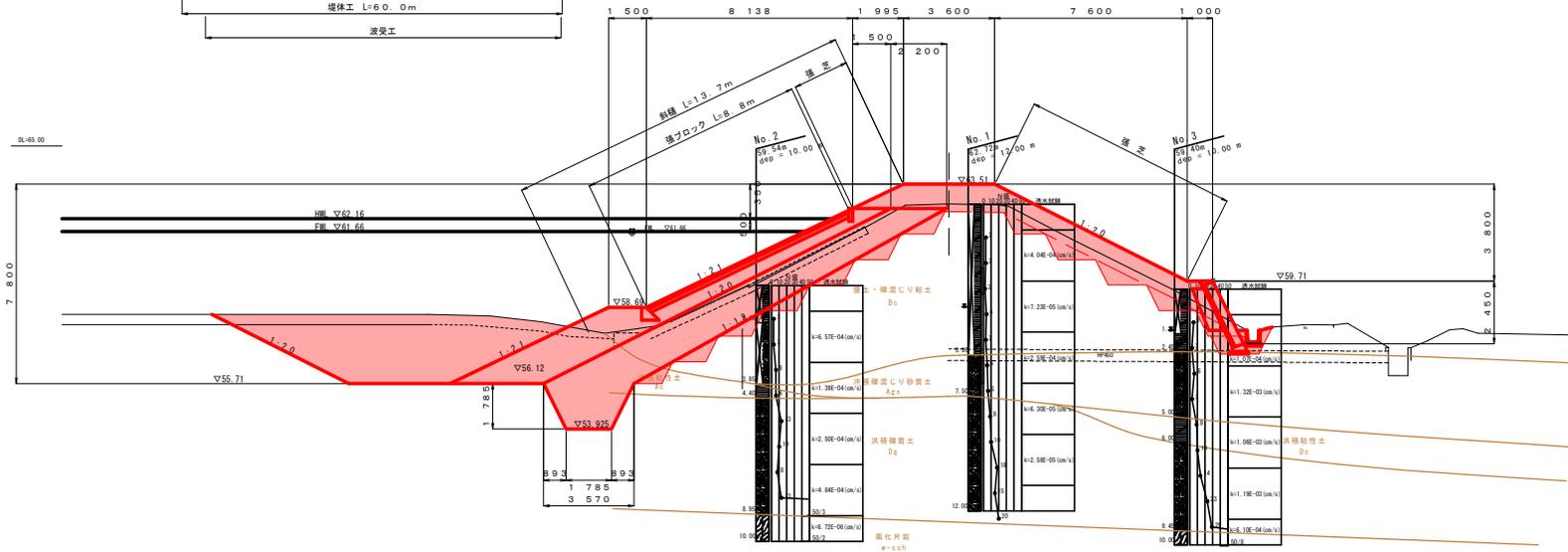


## 堤体標準断面図

NO.1+8.20

94-62-73

S=1:100



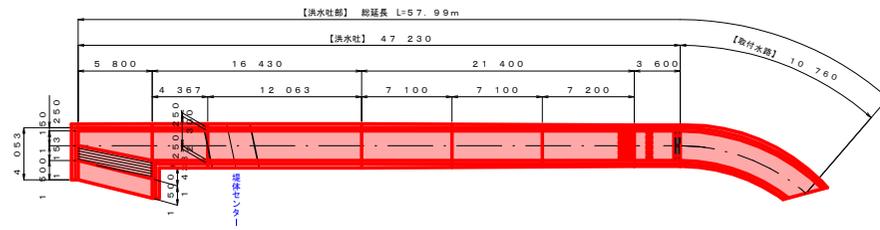


# 令和7年度 県営サコタ地区土地改良（農業用ため池整備）事業 概要図（3 / 4）

## 洪水吐一般図

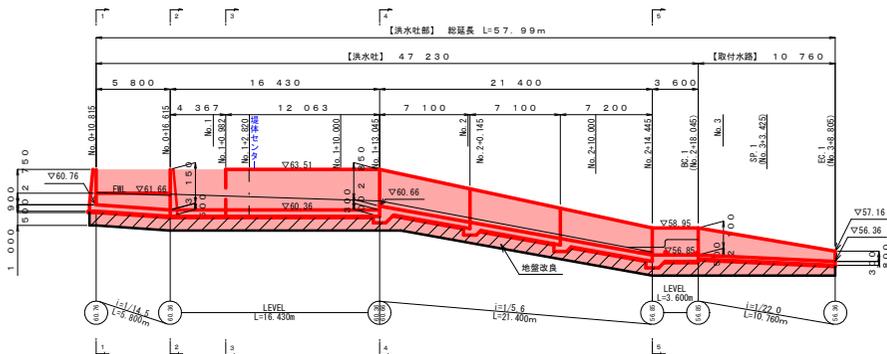
平面図

縮尺 1:200



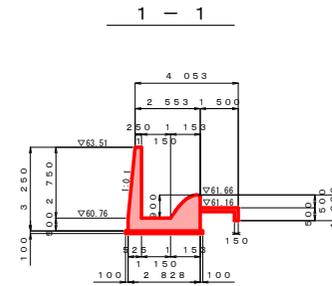
縦断面図

縮尺 1:200

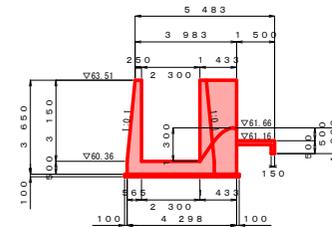


断面図

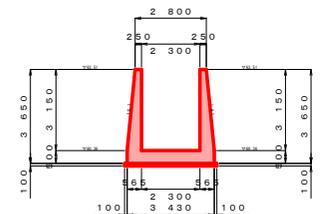
縮尺 1:100



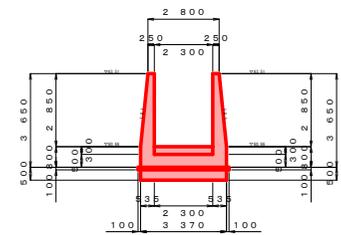
2-2



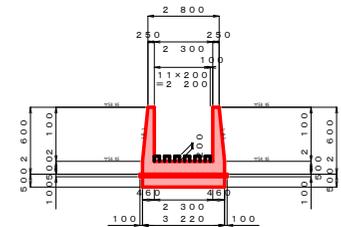
3-3



4-4



5-5



令和7年度 県営サコタ地区土地改良（農業用ため池整備）事業 概要図（4/4）

仮設計画平面図

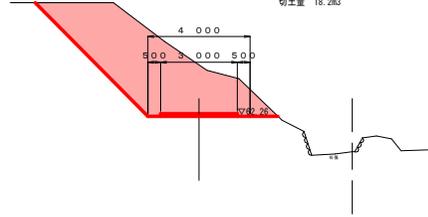
S=1:250

仮設道路断面図

縮尺 1:100

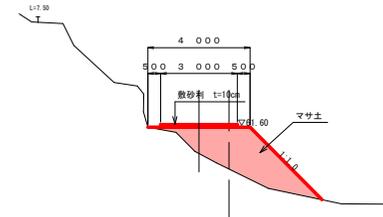
切土部  
(洪水吐側)

切土量 18.2m<sup>3</sup>



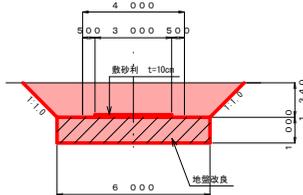
盛土部

盛土量 6.8m<sup>3</sup>

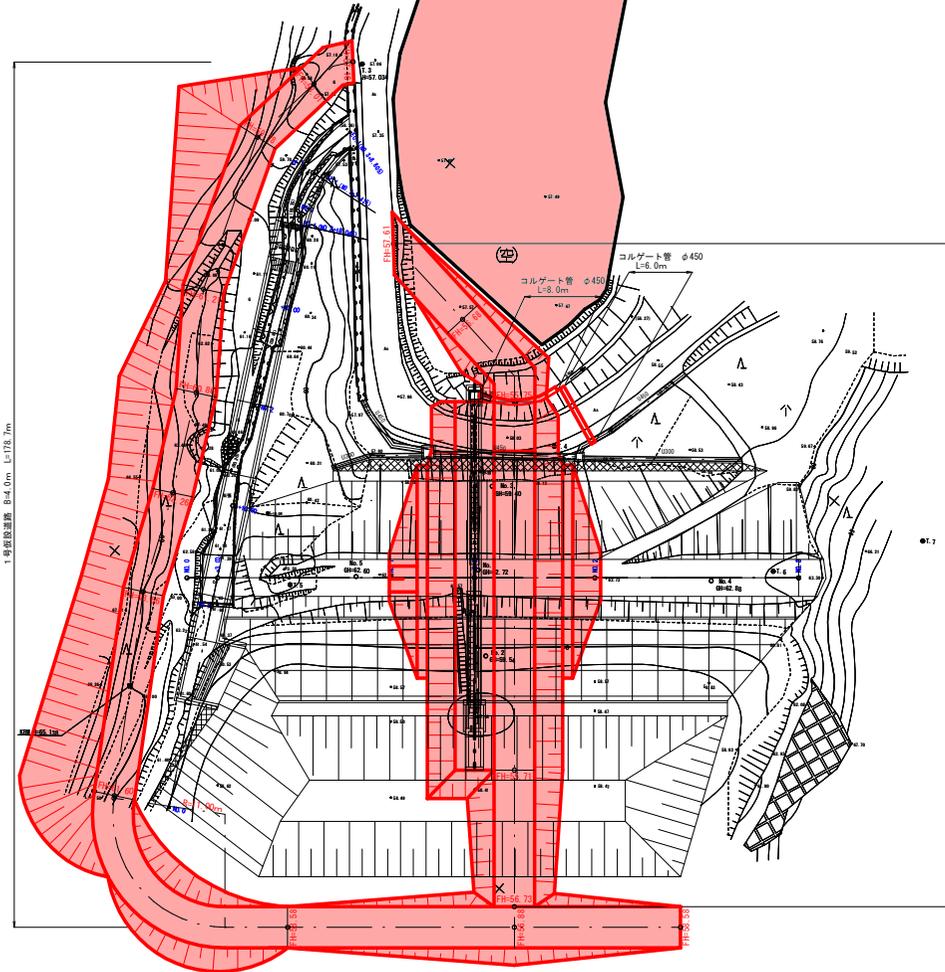


切土部  
(ため池内)

切土量 9.8m<sup>3</sup>

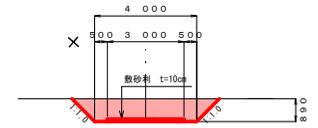


施工ヤード A=1,131m<sup>2</sup>

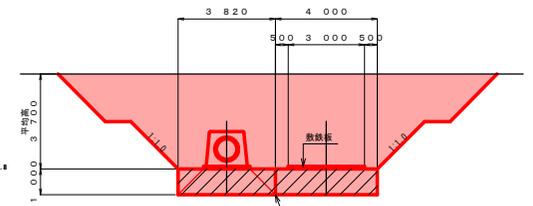


切土部

切土量 4.4m<sup>3</sup>



堤体開削部



施工ヤード A=1,930m<sup>2</sup>